

平成 30 年度 第 1 回 幸田町総合戦略推進委員会 議事録

○日 時：平成 30 年 8 月 1 日（水）午後 2 時～4 時

○場 所：幸田町役場 4 階 第 3 第 4 委員会室

○出席者：委員及びオブザーバーの計 17 人、町事務局等 6 人

○協議内容と主な意見等

「幸田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における数値目標及び交付金事業に対する現時点での評価、並びに各種施策の取り組みについて、委員から以下のようなご意見をいただきました。

●総合戦略の取り組み

- ・総合戦略は、「まち・ひと・しごと」の 3 点の総合的な取組であり、一つずつではないことを意識して引続き取り組んで欲しい。

●数値目標（K P I：重要業績評価指標）に対する現時点での評価について

- ・リーディングプロジェクトと K P I の相関関係が分かりづらいので、これを整理すると分かりやすくなると思う。
- ・K P I の未達成の原因等を整理し、対策等につなげていくとよい。
- ・これから非常に重要になってくるコミュニティバスについては、乗車人数を新たな指標とし、運行本数の増加につなげていくとよい。
- ・農業の振興について、6 次産業認定事業件数を指標としているが、認定されていなくても 6 次産業に取り組んでいる農家もあるので、これを踏まえた指標を検討して欲しい。
- ・交流人口については、祭りや道の駅、ハッピーネス・ヒル・幸田以外に、憩いの農園などもあげるとよいと思う。

●交付金事業について

- ・大変人気のある多世代交流施設（豊坂ほっと館）について、今後のコミュニティ活動の利用やセミナー利用など、多面的な利用にも拡大して欲しい。
- ・プラズマイチゴについて、西尾市の事業者で実験を進めているが、幸田町で進めていただきたい。
- ・自動走行や凧山のドローンの実験などは、しっかり町民にアピールして進めて欲しい。

以上